

平成 28 年度 マネジメントレビュー記録

1 報告事項

(1) 指標・目標値の達成状況、監視項目の進捗状況

① 指標・目標値

第二次長野市環境基本計画に掲げている 29 の目標値の達成状況（平成 28 年度分）
（担当：9 所属）

達成：13 項目 未達成：16 項目

未達成の 16 項目については、不適合是正計画書を作成し改善に向けて取組んだ。

第二次長野市環境基本計画の目標値の達成状況（平成 24 年度から平成 28 年度の 5 年間）
（担当：9 所属）

達成：16 項目 未達成：13 項目

② 監視項目

第二次長野市環境基本計画に掲げている 124 の施策の具体的な取組である 135 の監視項目の進捗状況
（担当：26 所属）

順調：78 項目 概ね順調：49 項目 遅れ気味：8 項目 遅延：0 項目

(2) エネルギー使用量の状況

市有施設（庁舎、学校、指定管理者制度導入施設など：1,292 施設）、庁用車（581 台）のエネルギー使用量を集計し、原油換算（省エネ法施行規則）を行った。

合計 28,674 kℓ（前年度：29,542 kℓ） 前年度比 - 868kℓ（-2.9 %）

(3) 環境監査の実施状況

【実施概要】

- ・ 期 間：平成 28 年 10 月 31 日（月）～同年 11 月 18 日（金）
- ・ 対 象：70 箇所
- ・ 監査員：職員 24 人及び相互環境監査員 3 人の計 27 人
※相互環境監査員：信州大学工学部 3 人

① 監査結果

要改善事項（1 件）

（内訳）観察：1 件（環境法令等一覧表の記載漏れ）

不適合の是正

該当所属において不適合是正計画書を作成し措置を講じ、事務局で確認を行った。

② 環境に配慮した取組（延べ 261 件）

（内訳）不要な照明の消灯、紙の削減、エコドライブ・アイドリングストップの実施、環境教育の実施、市民・施設利用者に対する省エネの啓発・協力要請の実施など

(4) 前年度のマネジメントレビューにおける見直し指示への対応

- ・ 第二次長野市環境基本計画最終年度のため、全ての目標値の達成に努めること。
指標・目標値や監視項目について、上半期の進捗状況を確認し、遅れている監視項目について、下半期での取組みの強化を図った。

- ・エネルギー使用量の増加を、可能な限り抑制すること。

平成 28 年度から新第一庁舎、芸術館、松代斎場等が年間を通じて運用されることによる使用量の増加を予想していたが、アクアパルへの移行と効率的な事務事業の実施等により、エネルギー使用量は、前年度比同量以下を達成した。

- ・関係法令等を、遵守すること。

監査結果を全所属に周知するとともに、各所属においても監査指摘事項の確認を行うよう依頼し、早期の改善、再発防止に努めた。

- ・新たな課題に対応した目標と施策を定め、実効性のある第二次長野市環境基本計画後期計画を策定すること。

第二次長野市環境基本計画を継承しつつ、地球温暖化に対する適応策の推進など新たな課題に対応した施策を盛り込み、進捗状況を具体的な数値で明らかにできるよう指標・目標値を設定し、第二次長野市環境基本計画後期計画を策定した。

2 改善のための提案

- ・第二次長野市環境基本計画後期計画の推進

第二次長野市環境基本計画の結果を踏まえ、平成 29 年度を初年度とした第二次長野市環境基本計画後期計画の上半期の進捗状況を確認し、遅れている場合は、原因を究明し、改善を図る。

- ・エネルギー使用量の抑制

引き続き全所属において省エネ活動を徹底することで、エネルギー使用量を抑制する。

- ・環境法令等の遵守

各所属において、関係する環境法令等の確認を行い、周知と遵守を図る。

3 マネジメントレビュー(市長による見直し指示)

記録作成 平成 29 年 6 月 21 日

- ・第二次長野市環境基本計画後期計画の計画目標値の達成に努めること。

- ・新たな市有施設の稼働に伴い、エネルギー使用量の増加が予測されることから、効率的な事務事業に取り組み、エネルギー使用量を可能な限り抑制すること。

- ・各所属において、関係法令等の確認を行い、関係法令等を遵守すること。

署名

加藤之雄